

11月19日 焼津市にて現場点検講習会を実施しました

1. 概要

静岡県内の道路インフラは、高度経済成長期から集中的に整備されており、今後急速に老朽化していくことが想定されます。国・地方とも厳しい財政状況の中、老朽化した道路インフラの補修や更新を確実に実施していくことが重要な課題となっています。

このような状況の中、市町では、技術者の不足や、点検業務が進まないといった課題が顕在化しています。

静岡県道路メンテナンス会議では、自治体の職員のこのような課題に対して橋梁の点検実務について市町が管理する橋梁を対象とした現場点検講習会を各地区で開催しています。

このたび、中部地域部会では、自治体の職員が自ら、現地で体験、実感し橋梁点検を行なえるような第2回目の現場点検講習会を開催しましたので、ご紹介します。

○日 時：平成26年11月19日(水) 10:00～16:00

○場 所：焼津市(栃山橋(H形鋼橋))

○参加者：富士市、焼津市、藤枝市、川根本町の4市町の自治体職員、静岡国道事務所 合計25名

○その他：現場点検講習会に先立ち、10:00～焼津市役所会議室にて「橋梁点検の実務におけるポイント」について学びました。

2. 講習会の様子



座学の様子



鋼橋端部の点検の様子



梯子を使用しての点検状況(床版)

<参加された方々の感想>

- ・情報収集と点検計画が大切だと思う。
- ・実際に橋梁を見ることで分かり易かったです。写真だけでなく、実際に悪いところが見られた点がよかった。
- ・今までの勉強会と比べて実習の時間が長く、とても良かった。数を重ねて理解を深めたい。
- ・現場の研修は、市町に多い中小規模の橋梁点検もあると今後の参考になると思う。

3. 報道

建通新聞に掲載されました。